

平成24年5月13日
今週のベストショット



雁レク8番球場 ソルトベスターズ 対 塩浜ジャガーズ戦
我慢強く粘りの投球を見せたジャガーズ内田投手が逆転勝利を呼び込んだ。
(写真：三苦フレンズ 肥喜里一征)

雁レク8番球場

ソルトベスターズ (2勝2敗)	0 1 1 0 1 0	3	中村 (耕)、鶴野●一酒井
塩浜ジャガーズ (2勝1敗)	0 0 0 3 2 ×	5	内田○一竹尾

HR：小森 (塩浜ジ)

初回は両チーム共に塁に出塁するものの決め手がなく得点に絡めず。二回表ソルトベスターズは、4番田中 (広) 選手と5番中村 (耕) 選手の連続ヒットと相手失策が絡み1点を先取。続く三回にも相手ミスから追加点を奪い、流れはソルトに傾きかけた。しかし、塩浜ジャガーズは四回、3番竹尾選手が出塁すると5番稗田選手の適時打で1点を返すと、すかさず6番の小森選手が右翼を超える本塁打で2点を追加し、逆転に成功。五回表はジャガーズのミスも絡みソルトは1点を返し同点とするもののその裏、ジャガーズは4番内田選手の2点適時打で試合を決めた。今日のヒーローは最後まで粘り強く投げたジャガーズ内田選手と本塁打を放った小森選手だろう。試合後、勝ったにもかかわらず次戦に備えているのか？輪になって長時間のミーティングをしていたジャガーズのメンバーの風景が印象的だった。(記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里一征)



二回表ソルト5番中村 (耕) 選手のセンター前ヒット。



二回表ソルト7番酒井選手の絶妙な送りバントが決まる。



三回表2点目となるソルト中村（健）選手のホームイン。



四回裏ジャガーズ小森選手がHRを放ちホームイン。



最終回ジャガーズは円陣を組んで気合を入れ直す。



勝利したジャガーズ水流（つる）監督の笑顔がいい。



投打のヒーロー、ジャガーズ内田投手と小森選手。



勝っても尚、真剣なミーティングをするジャガーズ。

雁レク7番球場

三友クラブ (0勝4敗) 0 0 0 0 0 0 0 足達●-小島

新町パイレーツ (2勝2敗) 0 2 1 0 0 0 3 吉田○-桐島

HR: 山野井 (新町パ)

パイレーツは二回に先頭の吉田選手がセンター前セットで出塁すると、続く八坂選手がしっかり送りバントを決め三友クラブの守備のもたつきについては吉田選手が三塁まで進む好走塁を見せた。次打者の山野井選手がセン

ターオーバーホームランを放ち2点を先制する。三回にも死球とヒットで二三塁から三友クラブ足立投手のWPで1点を追加する。何とか追いつきたい三友は五回に7番福井選手がセカンド白岩選手のエラーで出塁し、代打八尋選手がセンター前ヒットでこの試合初めて得点圏にランナーを進めたが後続が倒れチャンスをものにできなかった。終わってみるとパイレーツ吉田投手は2安打完封、三塁ベースを踏ませない見事なピッチングだった。
(記事・写真：新町ウインズ 桐島 司)



見事完封勝利パイレーツ吉田投手。ナイスピッチ!



先制ホームランを放ったパイレーツ山野井選手。

第5週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ!

奈多、三苦校区の壮年ソフトボール大会が青松園Gと三苦小学校で行われたため、和白リーグは2試合だけの開催でした。壮年ソフトボールに参加された和白リーグの皆さん、お疲れ様でした。和白リーグ以外のソフトボール愛好者の方々との触れ合いもいい刺激になったのではないのでしょうか?

さて、2試合ともに雁ノ巣レクリエーションセンター野球場での開催となった試合ですが、野球場使用時に限って、投球を捕手が後ろに逸らした場合、盗塁していようがランナーは進めても1つの塁までとなっております。当然、送球されてタッチされればアウトです。

雁レク7の三友クラブ対パイレーツ戦は、未だ勝ち星のない三友クラブ打線をパイレーツ吉田投手が抑え込み、2安打完封勝利を挙げました。3点取ったパイレーツも4安打と投手戦だったことが伺われます。先制2ランを放ったパイレーツ山野井選手は大殊勲ですね。

雁レク8のSベ이스ターズ対ジャガーズ戦は、2点のビハインドのジャガーズは、小森選手の一発と4番内田投手の2点タイムリーの逆転で勝利しました。内田投手はエースで4番の重責を跳ね除けての勝利に監督・ナインからの信頼も厚いのでしょうかね。

5月20日は、4試合です。和白校区壮年ソフトボール大会も開催されます。

	1 塁側		3 塁側		審 判
青松園A	奈多フェニックス	対	雁ノ巣ライナース		新町パイレーツ
青松園B	奈多クラブ	対	レッドサンデーズ		ジャガーズ・ソルト
奈多グラ	Bマーリンズ	対	奈多サンデーズ		三苦三球会
雁レク6	三苦フレンズ	対	三苦ホーネッツ		三友クラブ